

新しい門出 おめでとう

木屋平地区で成人式



木屋平地区の成人式が8月15日、木屋平福祉センターで開かれ、該当者10人のうち8人(男性5人、女性3人)が出席しました。式典では、青木市教育委員長が「自分の行動には責任を持ち、若さと行動力で21世紀の世界を大きく羽ばたいてください」と式辞。牧田市長が「美しい自然と豊かな人情味は美馬市の誇り。これからの人生で困難に出会ったとき、故郷を心の支えとして乗り越えてほしい」と激励しました。続いて、新成人を代表して勢古博信さん(榎原下)が「社会に貢献できる立派な人間になるために、人類平和と環境の保全、選挙権の正しい行使、明るい社会の実現に努めます」と決意を述べました。

式典後も新成人たちは互いの近況について話したり、記念撮影をして旧交を温めました。また、この日開かれた木屋平小学校での夏祭りへ繰り出し、多彩な催しを楽しみました。

高校生4人が世界のひのき舞台へ

10月27日から11月1日まで宇都宮市のコンセーレ大ホールで開かれるアームレスリングの『WAF第26回世界選手権大会ジュニアの部』に、美馬市から4人の高校生が出場します。

4人は、美馬市体育協会の釈迦力クラブに所属し、貞光工業高校に通う山根幸大さん(大工町)、藤川俊樹さん(拝東南)、正木翔太さん(共進)、三木崇史さん(棚田)。AJAF第2回全国高等学校アームレスリング選手権大会(8月20日、甲府市)では、山根さんが+70kg級左腕で優勝、同右腕で準優勝、藤川さんが+70kg級左腕で準優勝、同右腕で3位、正木さんが-60kg級左腕で準優勝、三木さんが-70kg級左腕で3位と、それぞれ上位入賞を果たし、これまでの実績も踏まえ、世界への切符を手に入れました。



▲世界選手権大会に出場する(左から)三木さん、藤川さん、山根さん、正木さん

世界のひのき舞台での4人の活躍を期待しましょう。